

平成24年度半導体関連産業技術高度化支援事業について

岩手県では、半導体関連産業を自動車関連産業と並ぶ戦略産業分野と位置付け、岩手を半導体関連産業の集積を通じた「ものづくり産業」の一大集積地とするための取組みを行っています。今年度においては、ものづくり体制の復興を全国に積極的にアピールしていくとともに、中長期を見据えた県内川上・川下企業の強固なパートナーシップの強化、地場企業の技術力高度化や次代を担う技術者育成を図る施策を講じることとしております。

具体的取組

連携交流

- 半導体協議会総会・講演会の開催
業界動向把握と新産業参入を目指す講演会の開催(年1回)
- TOUHOKU半導体フォーラムの開催
半導体関連産業に係る東北6県の川上企業と川下企業が情報交換を行う企業交流会の開催(他県開催)
- 県内関連企業に係る情報発信
半導体及び製造装置の製造プロセス毎に整理した関連企業マップの作成

取引拡大

- 専門展示会等への出展(復興アピールを含む)
「セミコンジャパン(半導体)」「PV EXPO(太陽光・2次電池)」等への出展
- 川下企業を対象とした企業内覧会の開催
川下企業に対し高度な県内企業が取引拡大を図る内覧会を開催(年2回)

当センターにおける事業内容

県の上記施策の一環として、企業出身のコーディネータを委嘱。各企業の戦略・成長レベルに応じ、展示会出展等の広く取引拡大を図る取組みに加え、自社の強み技術やアイデアを直接的にアピールできる機会等の拡充を図ることで更なる技術力向上と取引拡大につなげていく活動を行います。

技術高度化

- 参入研究会活動への支援
- メンテナンス参入研究会
川上企業が連携し、製造装置メンテナンス分野への参入を目指す研究会活動
- 新エネルギーに関する産業への参入研究会
産学官が連携し、新エネルギー関連産業への地場企業の参入を目指す研究会活動
- 各種勉強会の開催
- 半導体基礎講座
新たな参入、取引拡大を目指す企業技術者を対象とした基礎講座の開催(年5回)
- 財団法人いわて産業振興センターによる技術的支援
企業出身のコーディネータによる技術的アドバイス支援

平成24年度コーディネータ

たくち つよし
田口 毅

(株)多加良製作所岩手工場工場長代理、テクノクリート(多加良製作所装置部門子会社)の創設役員等を歴任。県内外の半導体関連業者との交流経験や、業界に関する知識等も豊富で、半導体関連産業に精通している。



ものづくり企業技能向上支援事業

ものづくりの高度化にチャレンジする企業の皆様へ最大100万円補助!

同じ機械・治具・工具を使っても技能者により品質や生産性に差があります。技能者に聞くと「勘」「コツ」「経験」「センス」の違いと答えます。このような技能者が捉える視覚、音、振動といった五感をセンサー技術で可視化し、位置決め装置や警報装置など技能をサポートするメカトロ機器の開発に助成を行います。

1. 助成対象企業

次を全て満たす企業

- (1)中小企業であること(資本金3億円以下または常時雇用する従業員数300人以下)
- (2)岩手県内に製造拠点を有すること
- (3)東日本大震災により直接または間接の被害を受けたこと
- (4)次の標準産業分類の中分類に属すること
繊維工業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業

2. 助成対象経費

ものづくり企業の作業者の技能(ここでは、勘、コツ、経験、センスなど属人的な能力を指す。)をセンサー等を使用して計測、数値化し、作業をサポートする装置の開発及び制作に関する経費を対象とします。社外に委託する場合は委託費、社内で制作する場合は部品費及び外注加工費とします。

3. 助成金額

助成対象経費の半分。ただし、1件当たり1,000千円を限度とします。

4. 条件

社外委託する場合、当センターが委託先を公募して最適な提案を採択し、そこに委託していただきます。

5. 助成対象企業の当センターへの協力

- (1)当センターが実施する助成対象設備の見学会に協力すること。
- (2)当センターが実施するセミナーで助成対象設備を紹介すること。
- (3)広報誌「産業情報いわて」掲載に同意すること。

6. 申込方法

申込用紙(当センターWEBサイトに掲載)に記入してファックスまたは郵送でお送り下さい。

7. 締切日

平成24年8月31日

8. 審査

内容を審査のうえ決定します。必要に応じて職員がヒアリングに伺います。
補助予定 5件程度

申込・問合せ先 (財)いわて産業振興センター 総務・金融グループ 担当/中村
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL:019-631-3820 FAX:019-631-3830
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/info/ginou.html>

厚生労働省/岩手県からのお知らせ

平成24年度毎月勤労統計調査特別調査についてお願い

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1~4人の常用労働者を雇用する小規模事業所における賃金、労働時間および雇用の実態について全国および都道府県別に明らかにすることを目的に実施しており、結果は小規模事業所の実態を示す資料として最低賃金の改定審議等に使用されています。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて、統計調査員が訪問し、調査票の内容をお聞きして調査票を作成いたします。

調査票に書かれた事柄は、「統計法」により、厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

ご多忙のこととは存じますが、調査の重要性をご理解いただきまして、ご回答いただきますようお願いいたします。

調査対象地域 盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、滝沢村、紫波町、矢巾町、西和賀町、一戸町

★毎月勤労統計調査 特別調査とは？

常用労働者5人以上の事業所を対象に毎月行っている毎月勤労統計調査(給与や労働時間、雇用の変動を毎月明らかにする調査)を補うために常用労働者1~4人の事業所を対象に年1回行う調査です。
対象の範囲は、農業、林業、漁業、家事サービス業、外国公務および一般公務を除く事業所です。

調査の結果は、小規模事業所の実態を示すものとして、最低賃金の決定に係る審議会資料に使用される等、行政施策の企画・立案に役立てられています。
なお、この調査は国の重要な統計を作成するための調査として、統計法に基づく「基幹統計調査」とされています。

BCPソリューションセミナーを開催しました

7月6日、岩手県先端科学技術研究センター2階会議室にて、「BCPソリューションセミナー」を、ソフトバンクテレコム(株)東日本・東海営業本部主催(当センター共催)により開催しました。当日は県内企業等から12名の参加がありました。

このセミナーでは、昨年発生した東日本大震災を契機に、関心が高まっているBCP(Business Continuity Plan :災害発生時の事業リスクを最小限に抑え、早期の事業復旧に向けた事業継続のための行動計画)の重要性について解説するとともに、災害時の事業継続に必要な通信(インターネットや電話、ファクシミリ)に関する対策方法について、ソフトバンクが提供するソリュー

ションの紹介を含め、詳細に説明がありました。

セミナー後半では、上記ソリューションを始めとしたビジネスに役立つアプリケーションを搭載したスマートタブレットの活用事例を紹介するとともに、参加者が実際にスマートタブレットを操作しながらの体験学習も行われ、参加者の関心を呼んでいました。

BCP対策についてご興味のある方は、下記中小企業庁のホームページ「中小企業BCP策定運用指針」をご覧ください。BCP策定ガイドや様式類、サンプル等が公開されています。

<http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/>

いわて特産品コンクール 岩手県ふるさと 食品コンクール

出品者募集中

申込締切

8/27月

販路開拓に意欲的に取組む県内事業者による新商品等の開発意欲及び
県産農林水産物等を原料とする食品の開発を促進するとともに、
これら商品等の普及を図ることを目的に食品並びに工芸品・生活用品のコンクールを開催します



平成23年度 食品部門
がんばろう岩手特別賞
赤武酒造(株) Liqueur Sweets いわて山ぶどう

「復興元年」
「がんばろう! 岩手」
地域とともに再生、

谷藤 かおりさん

井上 麻惟さん

森田 裕子さん



平成23年度 工芸品・生活用品部門
岩手県産業貿易振興協会会長賞
木工房さとう けんじのピトくん やじろべ〜

たけなご じゅんこさん

入賞者
特典

新聞媒体による
受賞PR広告

出品者
特典

PRパンフレット作成・配布

岩手県アンテナショップ(東京銀座・大阪・福岡)、物産展、商談会など

—— パンフ・新聞いずれも出品者作成費用負担なし ——

※いわて特産品コンクール出品者・入賞者のみ対象です



平成23年度
岩手県
知事賞

工芸品・生活用品部門
工房 夢繭・花
繭と漆のジュエリー・ブローチ



食品部門
(株)中原商店びんびん舎
生マッコリ「Senbei」

●開催日時等

コンクール名称	審査会日時	表彰式日時	審査会・表彰式会場
いわて特産品 コンクール	食品部門	9月25日(火) 9:00	9月26日(水) 午後
	工芸品・生活用品部門	9月26日(水) 9:00	
岩手県ふるさと食品コンクール	9月25日(火) 9:00		岩手県 工業技術センター (盛岡市飯岡新田)

●申し込み方法

参加申込書に記入のうえ、FAX又は郵送願います。

参加申込書は財いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。

http://www.joho-iwate.or.jp/fund/tokusanhin_d.pdf

申込み先

いわての物産展等実行委員会(財団法人いわて産業振興センター)

〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830

主催/いわての物産展等実行委員会・岩手県 後援/岩手県市長会・農林水産省東北農政局・いわて農林水産振興協議会

(財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2012年8月10日(毎月10日発行)

■発行/(財)いわて産業振興センター

〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>

■編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。